

「受験ガイド 2018」の補足について

関西大学入試センター

現在配布中の「2018 年度入学試験要項」に同封しております『受験ガイド 2018』について、以下のとおり補足説明いたします。

<該当箇所>

■P.36 センター利用入試のポイント

I 「高得点科目採用」と「傾斜配点方式」で得意科目が生かせる

●合否判定は素点ではなく、高得点科目に傾斜を掛けた調整後の得点で行います。

■センター試験の素点が70%に達していなくても、

①A学部では素点を各科目200点満点に換算したうえで、最も高得点科目の日本史(340/800)を生かすことができ、合計588/800(得点率74%)

②B学部では国語の採用範囲が現代文のみとなり、素点を各科目200点満点に換算するので合計478/600(得点率80%)

となり得点率は変わります。

	素点	各学部での傾斜配点結果	
		A学部 ベスト3科目 傾斜配点方式	B学部 3科目型
英語	160/250	128/200	128/200
現代文	90/100	120/200	180/200
古文	20/50		古文・漢文は 含みません
漢文	10/50		
日本史	85/100	340/400	170/200
合計/満点	365/550	588/800	478/600
得点率	66%	74%	80%

上記は昨年度センター利用入試(前期)にもとづいた、シミュレーション結果の一例であり、学部、入試日程、方式、選択科目によって得点率は異なります。

①日本史(340/800)は、合計点 800 点満点に占める日本史の得点です。

日本史の素点(85/100)を 200 点満点に換算(170/200)したうえで、最も高得点の日本史を傾斜配点方式により、2 倍に換算するため、表の結果(340/400)となります。

②国語の採用範囲が現代文のみとなります。

現代文の素点(90/100)を 200 点満点に換算するため、表の結果(180/200)となります。